<Windows11 でスマートアプリコントロールをオンにできない場合の対応方法>

Windows11 の 10 月アップデート後、スマートアプリコントロールをオンにできない場合、以下の操作を行ってください。手順の中ではレジストリの変更を行います。レジストリはとても大切なファイルです。必ず手順通りの順序で事前にバックアップを取得した上で実施してください。

1. スマートアプリコントロールの確認

<画面の開き方>

1. スタートボタンを押し、「**Windows セキュリティ**」と入力してアプリを起動します。
2. 左メニューから「**アプリとブラウザーのコントロール**」を選択します。
3. 画面内にある「**スマート アプリ コントロールの設定**」リンクをクリックします。
   「スマート アプリ コントロール」の専用設定画面が開くことを確認します。

2. オンにできなくなっていることを確認（不具合の確認）

ラジオボタンの「**オン**」がグレーアウトしており、選択できない状態（または選択しても強制的にオフ・評価モードに戻ってしまう状態）であることを確認します。



3. レジストリをバックアップする（必ず行ってください）

万が一のシステム不具合に備え、レジストリ全体をエクスポートします。

① キーボードの Windows キー + R を押し、「regedit」と入力して Enter キーを押します。
② 「ユーザー アカウント制御」の画面が出たら「**はい**」をクリックします。
③ レジストリ エディターの左ツリーの最上部にある「**コンピューター**」を右クリックし、「**エクスポート**」を選択します。
④ 保存場所に「デスクトップ」などを指定し、ファイル名（例: registry_backup）を入力して「**保存**」をクリックします。
⑤ 指定した場所に .reg ファイルが正しく作成されていることを確認します。

4. 対策のコマンドを管理者コマンドで入力する:修復コマンドを実行。

コマンドプロンプトを管理者権限で起動し、制御フラグの修正コマンドを実行します。

① スタートボタンを押し、検索欄に「cmd」 と入力します。
② 表示された「**コマンド プロンプト**」を右クリックし、「**管理者として実行**」を選択します。
③ 以下のレジストリ変更コマンドを 1 行ずつコピー＆ペーストして Enter を押します（※SAC ポリシーフラグをリセット・有効化準備状態にするコマンドです）。

1 行目

```
reg add "HKLM¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Policies¥Microsoft¥FeatureManagement¥Overrides" /v 2883193997 /t REG_DWORD /d 1 /f
```

2 行目

```
reg add "HKLM¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Policies¥Microsoft¥FeatureManagement¥Overrides" /v 2850574478 /t REG_DWORD /d 1 /f
```

④ コマンド実行後に「この操作を正しく終了しました」と表示されれば、正常に登録されています。

5. パソコンを再起動する（設定の反映）

レジストリの変更を全システムに適用させるため、PC を再起動します。

① スタートボタン ＞ 電源アイコン ＞ 「**再起動**」をクリックします。
② 再起動が完了し、正常に Windows にサインインできることを確認します。

6. スマートコントロールをオンにする（最終確認）

再起動後、スマート アプリ コントロールを有効化します。

① 「**Windows セキュリティ**」＞「**アプリとブラウザーのコントロール**」＞「**スマート アプリ コントロールの設定**」を再度開きます。
② グレーアウトが解除されていることを確認し、「**オン**」を選択します。
③ ユーザー アカウント制御が表示された場合は「**はい**」をクリックします。

ラジオボタンが「**オン**」にセットされ、保護機能が動作しているメッセージが表示されることを確認します。

